



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 79,200円 外電配送料 12か月 92,400円
 6か月 39,600円 6か月 46,200円



亜鉛建値は3,000円引き下げ

49万6,000円

6月の月内建値平均は50万1,000円

三井金属鉱業は19日、電気亜鉛建値を3,000円引き下げの49万6,000円にすると発表、同日より実施した。6月の月内建値平均は50万1,000円。

19日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は2,732.00ドル。19日の東京市場の米ドルTTSレートは158.96円。この値で換算した採算価格は、43万4,200円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万1,200円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2024年

1月…	430(4)	421(10)	430(16)	424(19)	454(26)	平均431.6
2月…	433(1)	418(6)	403(9)	409(16)	418(26)	平均414.8
3月…	418(1)	424(6)	430(11)	439(14)	436(19)	平均431.7
4月…	421(1)	442(4)	466(9)	493(12)	496(17)	平均477.1
5月…	502(7)	508(10)	523(15)	526(20)	532(23)	平均521.1
6月…	523(3)	499(6)	496(11)	499(14)	496(19)	平均501.0

世界半導体24春季予測

前年比プラス16%に再拡大

25年は+12.5%

WSTS・JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(小島啓二会長)はこのほど、世界半導体市場統計(WSTS: WORLD SEMICONDUCTOR TRADE STATISTICS) 2024年春季半導体市場予測を公表した。

24年は前年比+16.0%と再拡大を予測した。世界的に旺盛なAI関連投資を背景に、メモリーや一部ロジック製品の需要が急拡大しており、これが牽引するものとみている。

<世界の半導体市場動向>

23年の世界半導体市場は前年比-8.2%だった。世界的なインフレやそれに伴う利上げ、地政学的リスクの高まりなどが個人消費や企業の設備投資などに影響し、AI関連、自動車用途を除いて半導体需要は低調だった。

24年は前年比+16.0%と再拡大を予測している。AI関連投資が引き続き世界的に旺盛で、メモリーや一部ロジック製品の需要が急拡大しており、これらが主導すると予測している。

一方、AI関連を除くと以上のようなマイナス要因が継続し、現在に至るまで半導体需要は低調に推移している。このため、今会議では年後半の急回復を想定し難く、通年では多くの製品で前年比マイナス成長を予測している。

また、25年は前年比+12.5%と、さらなる市場拡大を予測した。AI関連の需要に加え、環境対応や自動化などの成長領域を念頭に、半導体市場の継続的な成長を期待している。為替レートは、1USDドルに対し23年:140.4円、24年以降:148.5円を前提としている。

<製品別市場動向(世界市場)>

24年における製品別のドルベースでの市場は、ディスプレイは前年比-7.8%、市場規模328億ドル、オプトは同-1.0%、同427億ドル、センサー&アクチュエーターは-7.4%、183億ドル、IC全体は+20.8%、5,175億ドルと予測した。(次ページへつづく)

KYOWA
 関東・関西に2箇所ある生産拠点の強み
 電線のことなら協和電線工業にお任せください

本社・本社工場 千葉工場

協和電線工業株式会社
 KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

本社・本社工場 〒581-0026 大阪府八尾市曙町1丁目7番地
 TEL (072)991-0818(代) FAX (072)991-4470

千葉工場 〒289-0114 千葉県成田市成井925番地

ICの製品別では、メモリーは同+76.8%、ロジックは+10.7%、マイクロは+1.6%、アナログは-2.7%と予測した。

25年には、ディスクリートは同+7.7%、353億ドル、オプトは+3.5%、442億ドル、センサー&アクチュエーターは+6.3%、194億ドル、IC全体は+13.7%、5,884億ドルと予測した。ICの製品別予測では、メモリーは+25.2%、ロジックは+10.4%、マイクロは+5.2%、アナログは+6.7%と予測した。

<日本の半導体市場動向(円ベース)>

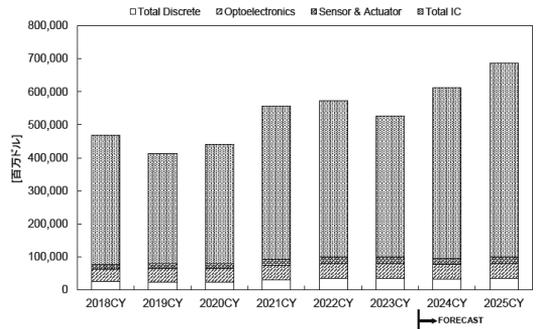
23年の日本の半導体市場は、前年比+3.8%、金額では約6兆5,637億円だった。

24年は同+4.6%とプラス成長を継続し、市場規模は約6兆8,670億円になるものと予測した。25年は+9.3%と成長が加速し、市場規模は約7兆5,088億円になるものとみている。

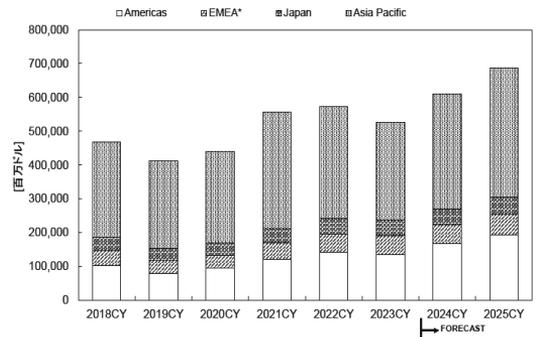
今回の予測は、WSTS2024年春季半導体市場予測会議(5月21日~23日、神戸)で行われた。WSTS半導体市場統計は、世界の半導体市場を同一基準で分類、集計した統計として世界唯一のもの。

WSTS市場予測は加盟会社(半導体メーカー42社)が同統計を参照して作成した予測値を基に、マクロ経済や主要電子機器の動向も参考にしながら検討を加えて作成される(予測は全て暦年)。

今回は24年3月までの実績値を基に作成。「半導体市場」は、半導体メーカーの国籍や生産工場の場所には関係なく、「半導体製品が半導体メーカーから第三者に販売された地域」を意味し、「第三者」には半導体ユーザーである電子機器メーカー、EMS、半導体扱う商社などが含まれる。



世界地域別市場予測 下から、Total Discrete、Optoelectronics、Sensor & Actuator、Total IC



世界地域別市場予測 下から、Americas、EMEA (Europe, Middle East & Africa)、Japan、Asia Pacific

日刊金属 既刊収録サイト



<https://nikkankinzoku.co.jp/>

ベースメタル市況動向5月

銅 史上最高値更新も反落

J O G M E C

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(高原一郎理事長)はこのほど、カレントトピックスとして「ベースメタル(銅・亜鉛・ニッケル)市況動向2024年5月」をまとめ公表した(表1)。金属企画部調査課、岩崎玲衣子氏の報告を紹介。

1. 銅(図1)

24年5月の豪BHPによる英Anglo Americanの買収提案の報道などにより、前月の銅価格は9,500.0US\$/tを上回る高値圏まで達し、期初価格は9,791.0US\$/tでスタートした。初旬は中国労働節によって薄商いとなり、ほぼ横ばいに推移した。さらに5月米連邦公開市場委員会(FOMC)を経ても、米連邦準備制度理事会(FRB)による金利引き下げ予測時期が不透明であることも重しとなった。

7日、労働節が終わり市場が再開すると、FastmarketsのTC Indexはわずかに上昇したものの、依然3週間連続で

マイナスと過去最低水準を示し、銅精鉱供給の逼迫が示唆された。

さらに、失業率や非農業部門雇用者数などが示唆する米国労働市場の悪化を受けて利下げの見通しが強まったことや、中国において精鉱輸入量が前年同月比8%増加するなど旺盛な産業活動が見込まれたことで、13日には10,000.0US\$/tを超えた。

14日、中国政府がインフラ投資の特別債権を一部売却するなど、不動産市場への景気刺激策を発表した。

17日、中国国家统计局は4月鉱工業生産指数が前年同月比6.7%増と前月・市場予測をともに上回ったことを発表し、中国需要増加期待が価格を押し上げた。

ファンダメンタルズ要因に加え投機筋の動向も価格上昇に拍車をかけた。消費者物価指数(CPI)などを始めとする米経済統計の悪化を受けて早期利下げ観測およびドル安が進行した。

Chicago Mercantile Exchange (CME)ではショートスクイーズが発生するなどして価格が急騰し、LMEでも投機筋がショートカバーを迫られ、20日に10,857.0US\$/tと2022年3月以来の史上最高値を更新した。(次頁へつづく)

21日以降、前週の急激な価格高騰による利益確定売りが増加し、価格は反落した。

また、BHPによるAnglo American買収が頓挫したことなどで銅の資産の魅力が低下しているという見方が強まったほか、最終用途セクターでは銅からアルミニウムへの代替が加速し実需が低下するという懸念も高まったことも価格を押し下げた。期末は、年初よりは上昇しているものの、9,985.0US\$/tと10,000.0US\$/tを割り込んだ。



銅LME現物価格

2. 亜鉛 (図2)

亜鉛も銅価格に追随する値動きとなったが、供給懸念の緩和が価格の上昇を抑制した。期初価格は当月最安値2,835.0US\$/tでスタートし、好調な中国経済動向などにより上旬は上昇した。

一方、3日にBoliden社がアイルランドTara鉱山の操業再開計画を、13日にNyrstar社が蘭Budel製錬所を生産能力は縮小しつつも操業を再開することを発表、需給懸念が緩んだことで上昇幅は抑えられたものの、21日には当年最高値3,093.0US\$/tと2023年3月以来の3,000.0US\$/t超えとなった。

その後下落傾向となったが、期末は2,994.5US\$/tと期を通して狭いレンジでの推移となった。

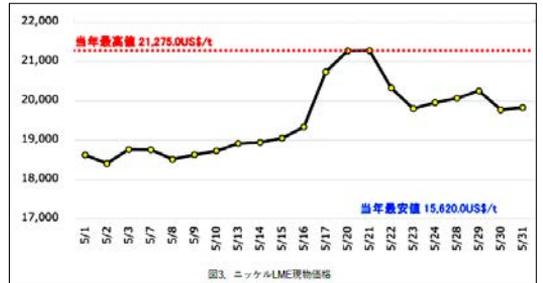


亜鉛LME現物価格

3. ニッケル (図3)

豪州でのニッケル事業の操業停止や、米、英の新たな制裁をきっかけとする露産品規制措置により、当年はやや上昇傾向が強くなり、期初は18,620.0US\$/tでスタートした。

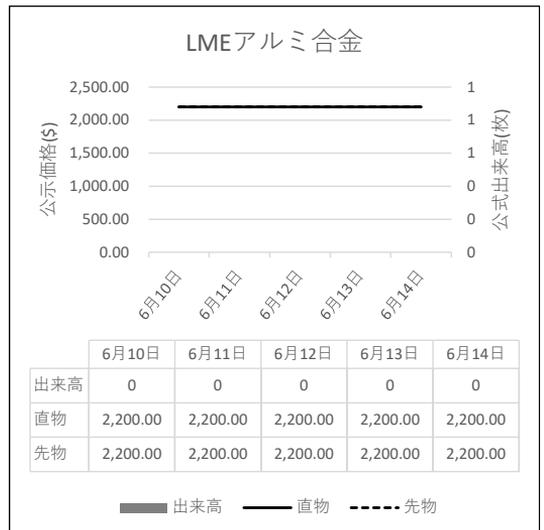
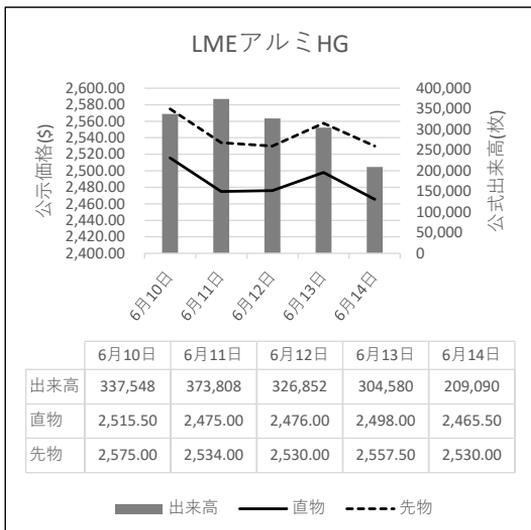
中旬、ニューカレドニアで先住民の抗議活動を発端とする暴動が発生したことで供給懸念が高まり価格は急騰、21日に当年最高値21,275.0US\$/tをつけ、8か月ぶりの高値となった。その後、この暴動の影響は限定的という見方が広まり下落し、期末は19,830.0US\$/tで越月した。



ニッケルLME現物価格

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
PW: NWJ2468797

LME公式値週間推移 6月10日~6月14日(現地)



故銅市況

19日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が前営業日の9,477.00ドルより51.00ドル安の9,426.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,536.80ドルより4.53ドル安の9,532.27ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,615.00ドルより40.00ドル安の9,575.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,665.50ドルより6.00ドル高9,671.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場7月限は、前営業日の444.75セントより4.30セント高の449.05セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場7月限は、前営業日の7万8,880元より330元安の7万8,550元。

19日の東京為替市場TTSレートは、前日の158.74円より0.22円の円安ドル高、1ドル=158.96円。19日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,426.00ドル。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(6月14日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1310~1315、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1275~1280、並銅は1240~1250、込銅 (高品位=約97%) は1230、セパは888~893。コーペルは要り用筋で829、それ以外は814ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋839、それ以外809~819どころの値頃。並青銅鋳物削粉は1085~1090どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1290~1310、上銅新くずが1255~1275、普通上銅が1230~1250、2号銅線が1222~1242、並銅が1220~1240、込銅(94-97%)が1168、込銅(90-93%)が1170、下銅が753~803、セパが853~888、コーペルが769~814、黄銅棒地が764~809、黄銅削粉が759~804、黄銅ラジが724~732、交叉ラジが729~786、黄銅鋳物が679~686、送りが491~510、上青銅鋳物が1082~1102、並青銅鋳物が1062~1077、上青銅鋳物削粉が1077~1097、並青銅鋳物削粉が1052~1072どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (6月前半)

2S=263円 ~284円、63S=248円 ~299円、アルミホイール(1P)=265円~279円、ビス付サッシ=171円~180円、エンジンコロ=169円~181円、込合金(機械鋳物)=172円~180円、缶プレス(ソフト)=166円~178円。

関西地区 (6月前半)

2S=287円 ~189円、63S=180円 ~314円、印刷版=175円~277円、アルミホイール(1P)=170円~311円、ベースメタル=155円~236円、機械鋳物=170円~174円、グライ粉=192円~195円、ビス付サッシ=175円~200円、缶プレス=183円~188円。

この値と19日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の154万2,000円より6,000円安の153万6,000円。この日、電気銅建値は157万円に据え置かれた。

為替動向

18日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0020ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0730ドル~1.0740ドルで推移した。

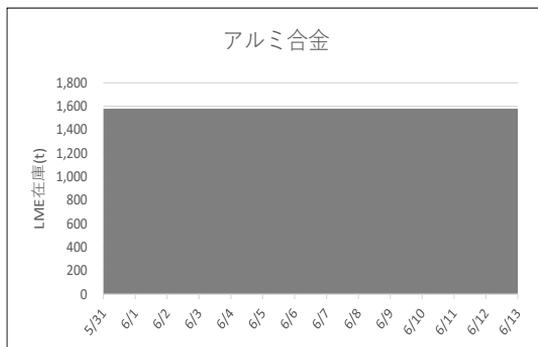
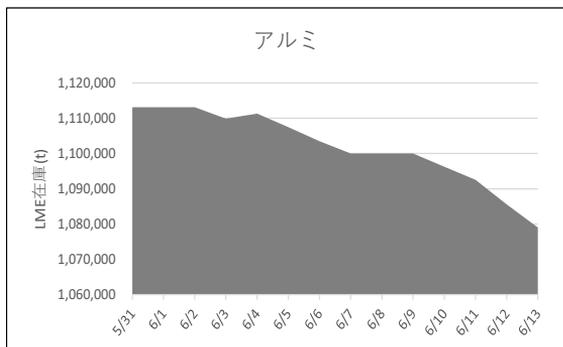
この日発表された米国の5月小売売上高は低調で市場予想を下回った。前月分も下方修正され、個人消費の減速を背景にしたユーロ買いドル売りが優勢になった。

18日のニューヨーク外国為替市場で円相場は4営業日の続落となった。前日と比べ0.20円の円安ドル高、1ドル=157.85円~157.95円で取引を終えた。FRBが利下げ転換に慎重との観測は根強く円売りドル買いの優勢が続いた。ただ、この日発表された5月の小売売上高は前月比0.1%増と市場予想の0.3%増を下回り前月分も横ばいから0.2%減に下方修正され円の下げ幅を縮めた。

19日早朝の東京外国為替市場では円相場が上昇した。8時30分、前日17時と比べ0.31円の円高ドル安、1ドル=157.82円~157.84円で推移した。米国の個人消費鈍化が伝えられFRBは利下げに動きやすくなるとの受け止めが拡がり円買いドル売りを促した。

円は対ユーロでも小幅ながら上昇。8時30分、前日17時と比べ0.05円の円高ユーロ安、1ユーロ=169.50円~169.51円で推移した。

LME認定倉庫在庫推移 5月31日~6月13日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は9,532.27ドル
COMEX銅相場は反発 SHFE銅相場は続落
LME非鉄相場は概ね軟調 直物終値は亜鉛2,782.70ドル、アルミ2,432.29ドル



19日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、18日入電の9,477.00ドルより51.00ドル安の9,426.00ドル。3営業日の続落で3.15%安。この週2.32%の下落。6月に入って5.60%の下落。3か月物の前場売値も、18日入電の9,615.00ドルより40.00ドル安の9,575.00ドル。3営業日の続落で2.89%安。この週2.11%の下落。6月に入って5.29%の下落。

LME公認倉庫の現地17日銅在庫は、14日の13万6,675トンより1万9,175トン増の15万5,850トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、6月限が18日入電の452.15セントより4.05セント高の456.20セント。反発して0.90%高。この週0.24%の上伸。6月に入って1.04%の下落。7月限も、18日入電の444.75セントより4.30セント高の449.05セント。反発して0.97%高。この週0.10%の下落。6月に入って2.42%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）の銅相場は、7月限が、18日入電の7万8,880元より330元安の7万8,550元。3営業日の続落で1.85%安。この週1.42%の下落。6月に入って4.46%の下落。8月限も、18日入電の7万9,080元より380元安の7万8,700元。3営業日の続落で1.96%安。この週1.53%の下落。6月に入って4.59%の下落。

錫はまちまち

LME錫相場の前場売値は、直物が、18日入電の3万1,800.00ドルより25.00ドル安の3万1,775.00ドル。3営業日の続落で4.15%安。この週1.96%の下落。6月に入って4.58%の下落。3か月物の前場売値は、18日入電の3万1,900.00ドルより100.00ドル高の3万2,000.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.31%高。この週2.14%の下落。6月に入って4.55%の下落。LME公認倉庫の現地17日錫在庫は、14日より横ばいの4,675トン。

鉛も反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、18日入電の2,105.00ドルより2.00ドル高の2,107.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.10%高。この週0.09%の下落。6月に入って6.19%の下落。3か月物の前場売値も、18日入電の2,150.00ドルより6.00ドル高の2,156.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.28%高。この週0.35%の下落。6月に入って6.34%の下落。

LME公認倉庫の現地17日鉛在庫は、14日の20万6,300トンより9,850トン増の21万6,150トン。

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、18日入電の2,757.00ドルより25.00ドル安の2,732.00ドル。反落して0.91%安。この週横ばい。6月に入って8.77%の下落。3か月物の前場売値も、18日入電の2,803.00ドルより17.00ドル安の2,786.00ドル。反発して0.61%安。この週0.14%の下落。6月に入って8.40%の下落。LME公認倉庫の現地17日亜鉛在庫は、14日の25万950トンより1,500トン減の24万9,450トン。

アルミはまちまち アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、18日入電の2,420.50ドルより7.00ドル高の2,427.50ドル。3営業日ぶりの反発で0.29%高。この週1.54%の下落。6月に入って9.32%の下落。3か月物の前場売値は、18日入電の2,487.00ドルより4.00ドル安の2,483.00ドル。3営業日の続落で2.91%安。この週1.86%の下落。6月に入って8.46%の下落。LME公認倉庫の現地17日アルミ在庫は、14日の107万3,950トンより5,275トン減の106万8,675トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が18日入電より横ばいの2,200.00ドル。この週横ばい。6月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、18日入電より横ばいの2,200.00ドル。この週横ばい。6月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、18日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。6月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、18日入電より横ばいの2,520.00ドル。この週横ばい。6月に入って横ばい。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、18日入電の1万7,080.00ドルより90.00ドル安の1万6,990.00ドル。3営業日の続落で3.19%安。この週1.65%の下落。6月に入って14.32%の下落。3か月物の前場売値も、18日入電の1万7,375.00ドルより125.00ドル安の1万7,250.00ドル。12営業日の続落で14.29%安。この週1.43%の下落。6月に入って14.29%の下落。

LME公認倉庫の現地17日ニッケル在庫は、14日の8万7,744トンより1,698トン増の8万9,442トン。



LME公示価格(US\$)／6月18日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,426.00	31,775.00	2,107.00	2,732.00	2,427.50	2,200.00	2,520.00	16,990.00
	前営業日比	▲ 51.00	▲ 25.00	2.00	▲ 25.00	7.00	0.00	0.00	▲ 90.00
先物	公示価格	9,575.00	32,000.00	2,156.00	2,786.00	2,483.00	2,200.00	2,520.00	17,250.00
	前営業日比	▲ 40.00	100.00	6.00	▲ 17.00	▲ 4.00	0.00	0.00	▲ 125.00

海外非鉄金属相場

(6月19日 入電・現地 6月18日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5 トン、アルミ合金20トン、ニッケル6 トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場買値, 前場売値, 終値, 出来高. Rows include: 銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NY コメックス相場.

Table with columns: フリー・マーケット, NY相場, ロンドン相場 (ドル), K L T M 錫 (MYR/KG, 出来高トン), LME 在庫 (トン), 上海在庫 (トン), LME プレマーケット (ドル), 上海相場. Includes various metal prices and market data.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の円・円レートで換算)

※19日のKLTIは入電がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows include: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

非鉄金属製品相場

(6月19日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪		東京		鉛亜鉛製品	大阪		東京		電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)		
銅小板2.0ミリ	1900	1910	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F						
建築用0.3ミリ	1950	1960	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750				2C×1.6	69~71		
銅大板2×1×2	2030	2110	給水管13ミリ	280	280				2C×2.0	121~124		
銅管(ベース)	1960	2110	鉛板1.5ミリ	600	600				3C×1.6	127~130		
水道用管(m当たり)13ミリ	1930	2080	鉛線3ミリ	430	430				3C×2.0	175~178		
銅棒25ミリ	1810	1880	軽圧品		大阪	東京	I V					
銅条1.5×100	1865	1925	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175				1.6mm	39.7~42.2		
銅線0.9ミリ	1890	1940	// 小板1ミリ	795	805				5.5sq	110~116		
銅帯6×50	1770	1880	// 大板1ミリ	775	795				14sq	273~291		
銅平角線	2090	2110	// 5052板	835	845	CV-T						
黄銅小板2.0ミリ	1510	1510	// 6061板	1360	1375				600V 3C×38	2098~2230		
// 0.3ミリ	1540	1540	// 2017板	1290	1405				600V 3C×60	3249~3454		
黄銅大板2×1×2	1660	1690	// 線3ミリ	775	790				600V 3C×100	5445~5788		
黄銅管	1990	2080	// 快削棒50ミリ	995	1010				6kV 3C×38	3268~3462		
復水器用黄銅管	1960	2050	// 合金棒50ミリ(17S)	980	990				6kV 3C×60	4632~4906		
黄銅棒快削25ミリ	1250	1280	// 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV					(関西-関東)	
六角棒	1280	1310	貴金属(一般小口向け)						3C×2	153-157		
四角棒	1310	1340	白金(グラム)		◎ 5549				4C×2	205-210		
鍛造用	1290	1320	パラジウム(グラム)		◎ 5313				6C×2	295-302		
ネーバル	1390	1420	金(グラム)		◎ 13065				7C×2	338-346		
高力	1390	1420	銀(キログラム)		◎ 167860	合金鉄					4月輸入単価 (CIF)	
黄銅線6ミリ	1695	1690	レアメタル輸入価格			4月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	148		
黄銅平角線ロール仕上	1895	1900	金属ケイ素(99.99%未満)		357			// その他	202.1			
黄銅条1.5×100	1505	1525	モリブデン酸化物		5068			フェロシリコン55%以上	223			
リン青銅板-一般用1.0ミリ	3560	3550	タンタル		77437			フェロクロム4%以上炭素含有	260			
// パネ用0.3ミリ	3800	3800	マグネシウム		411			フェロモリブデン純分60%以上	4963			
リン青銅棒25ミリ	3650	3660	コバルト		4865			フェロバナジウム	3119			
リン青銅線3ミリ	4100	4110	インジウム		35222			フェロニッケル33%未満	645.8			
洋白板-一般用1.0ミリ	4090	4240	減摩合金			6月17日改定	銅合金地金			6月3日発表		
// パネ用1.0ミリ	4210	4380	(500kg以上、大口価格)					(標準価格)	大阪			
			1種	6165				BC 1種	1605			
			2種	6005				2種	2035			
			3種	5830				3種	2140			
			4種	5180				6種	1790			
			5種	4810				7種	1905			
			7種	1865				YBSC 3種	1395			
			8種	1660				LBC 3種	2045			
			9種	1410				PBC 2種	2175			



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1570(14) 金 11,840(19)
 () 実施日 電気鉛 396(13) 銀 151,740(19)
 電気亜鉛 496(19) 錫(99.99%) 6,600(10)
 キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (6月19日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 66,000 ~ 70,000(1)

非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	
1 号 銅 線	1400	1399	電 気 銅 ◎1528	◎1523	◎1530	◎1525
2 号 銅 線	1358	—	電 気 亜 鉛 ◆462	◆456	◆462	◆456
上 銅 (新 切)	1371	1362	蒸 留 亜 鉛 ◆450	◆444	◆450	◆444
雑 ナ ゲ ッ ト	1204	1203	再生ダイカスト亜鉛2種 ◆390	◆384	◆390	◆384
並 銅	1313	1292	再 生 亜 鉛 (98%) ◆345	◆339	◆345	◆339
下 銅	1294	1262	電 気 鉛 373	370	373	370
銅 削 粉	1274	1262	再 生 鉛 1 号 354	344	348	343
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号 359	355	353	349
新 切 黄 銅 セ バ	1033	1044	錫 1 号 5100	5050	5100	5050
コ ー ベ ル	997	1000	ア ン チ モ ン 2400	2350	2400	2350
黄 銅 棒 地	975	988	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用) 2900	2850	2900	2850
黄 銅 削 粉	969	983	コ バ ル ト 5000	4700	5000	4700
並 黄 銅	930	910	セ レ ニ ウ ム 4100	3900	4100	3900
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	831	815	ビ ス マ ス 1600	1500	1600	1500
交 叉 ラ ジ エ タ ー	878	861	カ ド ミ ウ ム 800	750	800	750
黄 銅 鋳 物	935	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金 470	450	470	450
山 送 り (55%)	530	—	アルミ地金99.70% ◆434	◆430	◆436	◆432
上 青 銅 鋳 物	1116	—	アルミ二次地金99% 375	370	375	370
並 青 銅 鋳 物	1114	1102	〃 90% 350	345	350	345
上 青 銅 鋳 物 削 粉	1109	—	アルミ二次合金ADC12 464	459	467	462
並 青 銅 鋳 物 削 粉	1099	1086	鋳 物 用 C2BS 489	484	491	486
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1391	青 銅 合 金 地 金 3 種 1930	1920	1875	1865
〃 (鋳 物)	1230	—	〃 6種 1650	1640	1565	1555
リ ン 青 銅 削 粉	1148	1140	ハ ン ダ 錫 60 % 3870	3830	3890	3860
新 切 洋 白 (電 子 材)	1160	1147	〃 50 % 3350	3300	3370	3340
新 切 亜 鉛	268	268	〃 40 % 2885	2825	2840	2810
ダ イ カ ス ト く ず	185	185	減 摩 合 金 2 種 5565	5535	5570	5540
亜 鉛 ド ロ ス	165	175	〃 4 種 4790	4765	4795	4765
上 鉛	215	213	〃 7 種 1670	1620	1670	1620
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	80	80	ス テ ン レ ス ・ 特 金 18-8ステンレス 新切 95			100
活 字 鉛	195	192	〃 グライ粉 80			85
新 切 ア ル ミ 1 級	310	318	高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316 285			285
新 切 サ ッ シ 1 級	320	316	耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310 410			410
新 切 合 金 1 級	306	301	13クローム 新切 35			32
機 械 鋳 物 1 級	246	259	ハ イ ス 9種 180			180
ピ ス 付 サ ッ シ P	262	265				
合 金 削 粉 P	203	199				
込 ガ ラ P	166	170				
カ ン ・ バ ラ	232	226				

